

【事業名】プラスチック製容器包装手選別コンベヤにおけるリチウム電池混入検知装置設置事業

事業者名：藤沢市資源循環協同組合

実施期間：令和5年5月～令和6年2月

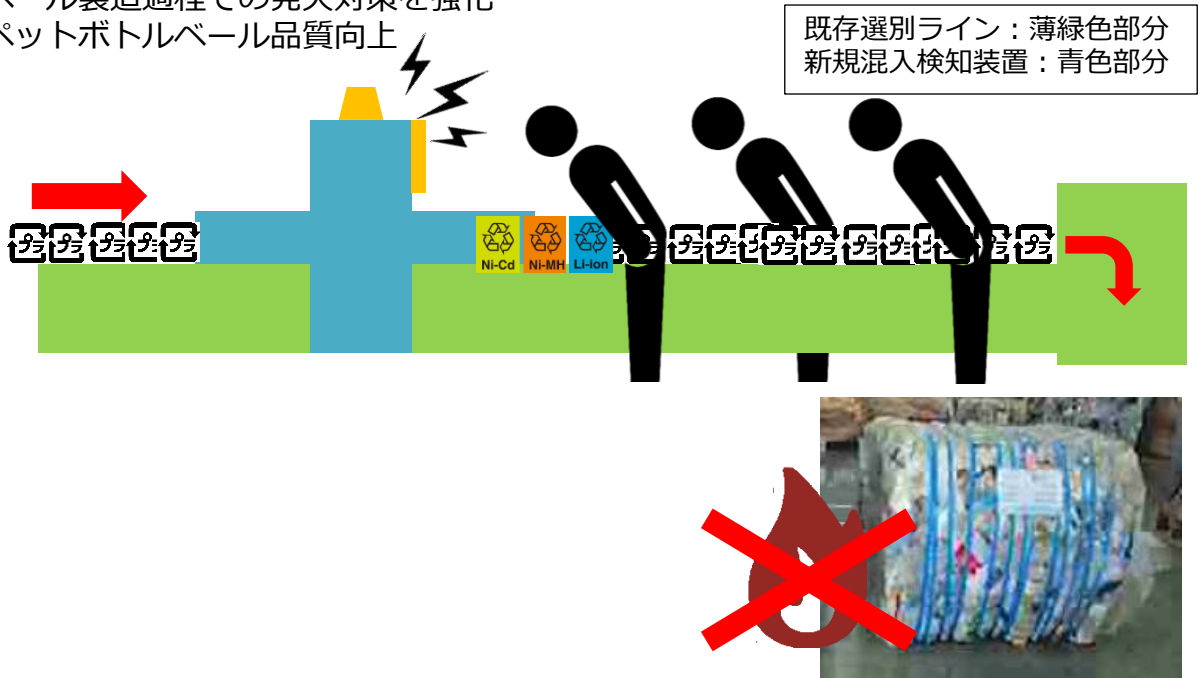
1. 事業の背景・目的

藤沢市の一般廃棄物におけるプラスチック製容器包装中間処理の再資源化において、作業員による手選別で異物除去をしている。リチウム電池等はプラスチック製容器包装よりも重く、重なっていると下に沈み除去できないケースがある。過去にもベールへの異物混入があり、リサイクラーへ迷惑をかけた経緯があり、都度作業内容の見直し、人員増での改善を行ってたが、今後の働き手において、高齢化・人材不足等の問題があるなかで、完全に取り除くことが難しい為、今事業で、プラスチック製容器包装手選別No.2・No.3ライン上に混入検知装置を使用することでリチウム電池等の選別精度を上げ品質の向上を図り、ベール製造過程での発火対策を強化する事を目的とする。

2. 補助事業の概要

プラスチック製容器包装手選別No.2・No.3ライン上に混入検知装置を設置。既存のラインに流れているプラスチック製容器包装を

- ①X線を用いて物質を判別
- ②異物発見時、音とパトランプにて作業員へお知らせ
- ③モニタを見て異物を除去
- ④ベール製造過程での発火対策を強化
- ⑤ペットボトルベール品質向上



指標	今年度終了時目標	設置完了後
①リチウムイオン電池の選別除去	95%除去	100%除去
②ベール製造過程での発火対策	95%	100%
③プラスチック製容器包装ベール品(圧縮梱包)の品質向上	ベール検査 判定A	ベール検査 判定D 設置前の検査の為。